

天文台の行事

申込方法 受け付け開始日の9:00から科学館HPまたは来館で
※星の教室は空きがあれば当日申込み可



★ 星の教室

「今年の天文現象2026」

●日時／1月25日(日) 14:10～15:40 ●定員／170名(先着) ●参加料／無料
●講師／近藤祐司(旭川市科学館天文台) ●申込期間／12月26日～1月24日

「重力波で解き明かされる宇宙誕生の謎」
～インフレーションやビックバンなど
宇宙の始まりに迫る重力波とは～

●日時／3月29日(日) 14:00～16:00 ●定員／50名(先着) ●参加料／無料
●講師／富樫 一憲 先生(旭川天文同好会会長) ●申込期間／2月27日～3月28日

★ 冬休み天文教室

「天体望遠鏡の製作」

●日時／12月26日(金) 10:00～12:00 ●定員／10名(抽選)
●対象／小学4年生～中学生 ●参加料／4,500円
●申込期間／11月26日～12月16日

＊ 天体を見る会 ＊

【冬の星と木星・土星・天王星・海王星の観測】

12月21日(日)19:00～20:30 [申込期間] 11月21日～12月11日

【冬の星と木星・土星・天王星・海王星の観測】

1月10日(土)19:00～20:30 [申込期間] 12月11日～12月31日

【冬の星と木星・天王星・月の観測】

2月8日(日)19:00～20:30 [申込期間] 1月9日～1月29日

【冬・春の星と木星・月の観測】

3月8日(日)19:00～20:30 [申込期間] 2月6日～2月26日

[対象] どなたでも(中学生以下は保護者同伴)

[定員] 各回 50名(抽選) [参加料] 無料

※開始から約30分間のプラネタリウム解説があります。

※曇天等で星がみえなくてもプラネタリウムで解説があります。

※テーマを変更する場合があります。

★ サイエンスセミナー

国立天文台 渡部潤一教授 講演会

「宇宙の放浪者 ― 見えてきた恒星間天体 ―」

●日時／2月1日(日) 14:00～16:00 ●定員／100名(先着)
●対象／どなたでも ●参加料／無料 ●申込期間／1月2日～1月31日

	12月	1月	2月
天文台 スタンプ ラリー			

天文台の望遠鏡で星を観察すると月毎に1回スタンプを押せます。
スタンプが3個そろったら天文台スタッフに声をかけてね。

天文台やプラネタリウムの情報をCHECK!

サイバル天文

@SCIPALgnf65_zmp
X(旧Twitter)



旭川市科学館サイバルの天文台やプラネタリウムに関する
イベント情報、天文現象などをSNSでお伝えします。

開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

12～2月の休館日

12月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月)・30日(火)・31日(水)
1月1日(木)・3日(土)・4日(日)・5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・30日(金)
2月2日(月)・9日(月)・16日(月)・24日(火)・27日(金)

観覧料

科学館		博物館	観覧料(円)				中学生 以下
常設展示室 (1日)	プラステリウム (1回)	常設展示 (1日)	大人		高校生		
			個人	団体	個人	団体	
●	—	—	410	320	280	210	無料
—	●	—	330	260	220	170	
●	●	—	520	410	350	280	
●	—	●	530	430	350	280	
—	●	●	470	370	310	240	
●	●	●	760	620	510	400	

☆ プラネタリウムの観覧券はご購入いただいた回のみ有効です。

☆ 団体料金は、同じ料金の方が20名以上の場合に適用となります。

☆ 次に該当する方は、観覧料が免除になります。

(1)②に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
と介助者(介助対象者と同人数まで)

②介護保険法に定める要介護者の方と介助者(介助対象者と同人数まで)

③学校の児童生徒等を引率する教員

④団体見学申込書による一般団体引率者の方(1/10の人数まで)

☆次に該当する方は、科学館の観覧料が5割減額となります。

(1)に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各市在住の満70歳以上の方

②旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学または
在住する高校生20名以上の団体

次のパスポートをお買い求めいただいた方は、
最初に使用した日から1年間対象施設を何度もご覧いただけます。

種類	対象施設	料金(円/枚)	
		大人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,040	660
博物館・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 博物館の常設展示	1,560	1,040
動物園・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 旭山動物園	2,230	

上記パスポートは科学館の受付または市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。

「サイバル☆みらい基金」にご協力ください

新たな展示や企画展、特別展の開催などに役立てられる基金です。寄附は、個別
でのお申し込みのほか、館内に設置している募金箱からもご協力いただけます。

【お断り】

掲載している投影・イベント情報については、諸般の事情により中止又は延期となる可能性が
ありますので、予めご了承ください。最新の情報についてはホームページをご覧ください。

旭川市科学館 | 〒078-8391
旭川市宮前1条3丁目3番32号

電話 0166(31)3186(代表) FAX: 0166(31)3310

E-mail kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

HP https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/index.html

●表紙画像: M45 プレアデス星団 ●撮影: サイエンスボランティア旭川 中西 要成 氏



旭川市科学館



＊ 一般番組[小学校高学年～大人向け] ＊

その日の旭川の星空と天文現象や季節の話題などを投影者が生解説します。

★ 冬の一般番組

【今日の星空と投影者のお好み解説】

＊ なかよしタイム / 幼児番組[幼児～小学校低学年向け] ＊

季節の主な星座や星にまつわる物語を中心にお届けする約20分の番組です。幼稚園・保育所等の団体利用でもご利用ください。

11月1日～12月25日 【クリスマスのふしぎ】

12月26日～2月28日 【ふゆのきょうだいぼし】

＊ はじめてのプラネタリウム ＊

【それいけ!アンパンマン～星の色と空の色～】

※日曜日、祝日及び振替休日に投影

＊ ドームシアター[小学生～大人向け] ＊

12月～1月 銀河鉄道999 赤い星ベテルギウスいのちの輝き

2月～3月 世界遺産 宇宙への祈り

＊ 特別投影 ＊

【今日の星空 クリスマス2025バージョン】

12月20日(土) 11:40～、16:00～ 12月21日(日) 16:00～

【プラネタリウムでスマホ撮り】

1月2日(金) 11:40～、16:00～

● 12月～2月の投影時間

		午 前		午 後			
		10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00
開始時刻	平日・土曜	団体専用	なかよしタイム ※平日のみ変更する場合あり	一般番組	なかよしタイム	ドームシアター	一般番組
	日曜祝日	なかよしタイム	はじめてのプラネタリウム				

※11時の回は平日(旭川市内の小中学校の夏・冬休み期間を除く)に限り団体予約により番組内容を変更する場合があります。
※特別投影・催事により番組内容・時刻を変更する場合があります。
※団体利用の場合は3日前までにご予約ください。
※定員は170名です。

学習番組・授業について(学校の団体利用のみ)

小学校・中学校の団体見学向けに理科の教科書に沿った内容の番組を投影できますのでお問い合わせください。ご予約については2週間前までに申し込みください。

	12月	1月	2月
プラネタリウム スタンプ ラリー			

プラネタリウムを見ると月毎にスタンプが押せます
スタンプを3つそろえたらプラネタリウムスタッフに声をかけてね

こよみと天文現象

空にかざして
使ってみよう!

12月

5日 ●満月
7日 大雪(太陽の黄経が255°になる)
木星と月が接近
8日 水星 西方最大離角(朝方東の空で見やすくなる)
12日 ●下弦
14日 ふたご座流星群が極大
20日 ●新月
22日 冬至(太陽の黄経が270°になる)
28日 ●上弦

1月

3日 ●満月
木星と月が接近
4日 しぶんぎ座流星群が極大
5日 小寒(太陽の黄経が285°になる)
10日 木星が衝
11日 ●下弦
17日 生用(太陽の黄経が297°になる)
19日 ●新月
20日 大寒(太陽の黄経が300°になる)
26日 ●上弦
31日 木星と月が接近

2月

2日 ●満月
3日 節分
4日 立春(太陽の黄経が315°になる)
9日 ●下弦
17日 ●新月
19日 雨水(太陽の黄経が330°になる)
20日 水星 東方最大離角(夕方西の空で見やすくなる)
24日 ●上弦
27日 木星と月が接近

＊ ほしぞらだより

今年の冬は木星が双子座近くにあり、木星と双子座の明るい星が並ぶ「三つ子」になります。また、土星も見ることができますが、日没後の西の空で日に日に低くなっていきますので1月中旬頃で今シーズンの見納めとなるでしょう。

冬の夜空には明るい星が多いですがその中でも目立つのがおおいて座の1等星シリウス。シリウスは星座をつくる星の中では全天で一番明るい星です。そのシリウスと赤く輝くオリオン座の1等星ベテルギウス、こいぬ座の1等星プロキオンを結んだものを「冬の大三角」と呼び、冬の星座を探す目印となります。また、ベテルギウスを取り囲むように位置している1等星のポルクス、カペラ、アルデバラン、リゲル、シリウス、プロキオンを結んでできる六角形を「冬の大六角」と呼びます。

冬の夜空

